

教育者座談会

麗澤教育80周年
記念企画

われら麗澤
今が出番です

教育に道徳を
子供に生きる力を

注目

麗澤会全国大会開催ニュース



麗澤教育の発展を期して

学校法人廣池学園
常務理事



長井 孝介（29高）

麗澤教育がスタートして80年という節目の年をまもなく終えようとしています。迎える平成28年は、奇しくも学園創立者・廣池千九郎先生（1866―1938）の生誕150年に当たります。

創立者の遺志を受け継ぐ学園と公益財団法人モラロジー研究所両法人が連携し、この記念年を如何に迎えるかについて「学祖生誕150年記念事業委員会」を立ち上げ、1年以上かけて話し合ってきました。そして両法人が協働して取り組む事業と各法人が主体的に取り組む事業とが決定し、実施・開催に向けての準備が始まりました（詳細は学園HPをご覧ください）。

対内的には廣池千九郎の遺志の再確認、及び両法人の使命と役割について自覚と決意を新たにすること、対外的には廣池千九郎の人と思想、業績を広く社会に伝えることを主眼としています。特に学校教育における道徳教育貢献事業はまさに時宜を得たもので、道徳の教科化に向けた社会の動きの中で、今



こそ私たち両法人のお役の立ち時と言えるでしょう。

さて、私の麗澤教育との出会いは自ら寮生活を望んでの麗澤高校進学でしたが、麗澤会員の皆さんも自ら望んで麗澤各校に学びの場を求め、また全員が満足して卒業されたと思いたいのですが、現実はいかがでしょうか。全寮制時代と通学制導入後での母校に対する思いにも濃淡があることでしょうか。しかし不思議にも親となったときに我が子、孫にもやっぱり麗澤に行かせたいという思いが募ってくるのはなぜでしょうか。それは家族にも似た友との出会いや仲間との深い絆を結ぶ絶好の機会がそこにあることを忘れてはいないからではないかと思うのです。

先日、高校時代の友人の孫（小生）と私の孫（年長）とが一緒にキャンプをする機会があり、ツリークライミング（左下写真）に初挑戦している姿を下から見上げていた時にふと思ったこと、それは麗澤という高木に伝統というロープを頼りに自らの力で登っていく孫たちのさま、これがいわゆる累代教育というものではないのか、ということでした。

学園並びに麗澤会の発展は、麗澤で学びたい、麗澤を卒業して良かった、そのように麗澤教育を誇りに思える若い世代をどれだけ育てていけるかにかかっているように思います。



麗澤会全国大会★

祝廣池学園創立80周年記念

確かめよう麗澤のきずな

伝えよう4万人の感謝

平成27年（2015）は、創立者廣池千九郎博士の昭和10年（1935）道徳科学専攻塾の開設から80年という節目の年を迎え、麗澤会員は4万人を超えるまでになりました。

麗澤会では、この80周年を機に「4万人の感謝」の気持ちを込め、「麗澤会の『絆』をより強める」「母校の将来の発展を願う」「恩人・恩師に感謝をする」ことを趣旨とし、併せて若い世代へきずなとその価値を継承するため、「麗澤会全国大会 祝 廣池学園創立80周年記念」を企画。全国大会前夜祭として「天満宮船渡御」を平成27年7月25日（土）に、「全国大会」を26日（日）にユニバーサル・スタジオ・ジャパンを会場に開催しました。



若手会員の司会で大いに盛り上がりました

オープニングステージのエルビス・オノ（小野剛副会長）

オープニングで挨拶される廣池幹堂名誉会長

記念大会はUSJ内のパーティー会場を貸し切って行われ、会員とその家族、乳幼児から70代まで360人が一堂に集いました。

午前11時30分に大会責任者である岡田恭彦会長の3つのスローガン「確かめよう麗澤のきずな！」「伝えよう4万人の感謝！ 力を合わせよう母校支援！」の掛け声のもとスタートしました。廣池幹堂名誉会長に続き、蟹井克也・麗澤瑞浪中高校長、黒須里美教授（麗澤大学長代理）、竹政幸雄・麗澤中高校長の挨拶の後、ユニバーサル・スタジオが誇るエンターテインメントショーの数々が繰り広げられました。途中の会食やスピーチをさみ午後2時まで歓談とアメリカ仕込みのプロのショーを楽し

麗澤感いっぱい 記念大会

USJに全国360名集う



全体写真



地元・関西だけでなく日本各地から



乳幼児から70代まで360人が集い、麗澤の絆を実感



ステージと参加者が一体となったダンスタイム

しみました。

ショー後半は会場参加型のプログラム。パフォーマーの振り付けにあわせて、会場のあちこちでダンスが始まると熱気が一気に上昇。壇上で恩師や役員とパフォーマンスとのサークルダンスが始まると大きな歓声上がり、老若男女全員が麗澤の絆を強め、一体感を実感しました。大勢参加してくれた未来の麗澤会員も存分に楽しんでくれていました。

ショーの合間を縫って各テーブルでは久しぶりに会った旧友との歓談、初めて参加された会友の方々も楽しんでいただき、どちらが恩師か分からなくなった先輩方も初めてのスタイルの大会を楽しんでいただいたようでした。

記念大会となって、遠方からもバスを仕立ててグループ参加した県支部もあり、参加者はそれぞれ開会までの時間、思い思いにパーク内のアトラクションを楽しんだり、話題のアトラクション「ワールド・オブ・ハリリー・ポッター」を家族で楽しんだ方もおられました。大会後も時間の許す限りアトラクションを楽しみ、中には夜のパレードまで満喫した方もおられました。



行き交う奉拝船や兩岸、橋上の見物の人たちと「大阪締め」で挨拶

昨年に続いての神事参加です

奉拝船でいただくお弁当は格別



次世代を担う若手会員20名の「おもてなし」スタッフ

今年は146名が乗船

奉拝船で絆むすんだ 前夜祭

前日の7月25日には前夜祭として、昨年続き、日本三大祭「天神祭」の神事「船渡御」に廣池幹堂名誉会長ご夫妻をはじめ、各校の恩師をお招きし、総勢146名が乗船した麗澤会奉拝船が飛翔橋から出発しました。

例年のように一気に夏が来た晴天のもと、暑さも一段と増した中で、天満宮の陸渡御に引き続き行われる船渡御に麗澤3校の奉納船を出しました。3校の幟旗を立てての参加です。

廣池名誉会長の挨拶の後、各校の恩師紹介も行われ、恩師のご挨拶が済む頃には、夕暮れが迫ります。さすがの暑さも和らいでくる頃には出航です。およそ200隻が行きかう際には大阪締めの手締めが挨拶の習わしです。御神霊をお祭りした御鳳輦船には2礼2拍手1礼でお迎えます。そのほか能船や文楽船などが行きかい、自由にも動き回る大阪名物どんどこ舟なども行きかい、いやがうえにも盛り上がり、賑やかな中でお互いの旧交を温め、麗澤の絆を強めました。

大川（淀川）の兩岸や橋の欄干には見物客が鈴なりで、期間中の入出はおよそ100万人ともいわれています。その中を各奉納船が行きかう光景はまさに一大パノラマです。今年は特に奉納花火が見事で、火花が真上にかかるさまは圧巻。「二度は参加したい」「一度は奉納船に乗ってみたい」といわれています。まさに初めての方は異口同音におっしゃるのがよく分かります。

また、船上では麗澤会の次世代を担う「関西ゾーン」、「東海ゾーン」、「首都ゾーン」、そして「れいこう麗澤会」の若手会員20名が「おもてなしの心」で参加者にお弁当や飲み物などを配るお手伝いをしてくれました。

下船後、参加者はいよいよ明日の記念大会に備えて宿舎や家路に急がれました。その中でお手伝いをしていただいた青年の方は、後片付けをした後に打ち上げ。盛り上がったことと思いますが、本当にご苦労様でした。

来年度も麗澤会では船渡御に奉納船を出すことが決まっておりますので、一度乗ってみたいという方はぜひご参加ください。

（麗澤会大阪府支部／藤岡庸二）



吉田良二先生 幸 史隆先生 松浦勝次郎先生 井出 元先生

ご出席
いただいた
恩師の皆様



盛林和久先生 吉村 孜先生 穂苅満雄先生 池田 修先生 野中道男先生



落語家桂三金師匠(右)の司会で大盛り上がり



全国大会開催にご協賛いただいた方々

(敬称略)

前号に掲載しました方々に続いて、次の方々からいただきました。合計671万円のご厚志を賜りました。ありがとうございました。

辻本篤史・公美子(42高)、風澤秀夫(28高)、福武啓一(18大)、福武啓子(21高)、大上克裕(38高)、児玉正子(32高)、林美恵子(16高)、藤田和広(31瑞)、株式会社山添印刷店 代表取締役 山添順裕(45瑞)、有限会社ぶんぐよしだ 取締役 吉田伊佐見(47瑞)、NSKエンジニアリング(株) 大上 正、夢陶房(株) 大上磯松(36高大)、日本システム技術株式会社 代表取締役社長 平林武昭(20高)、株式会社八天堂 代表取締役 森光孝雅(45高)、有限会社三浦マック 代表取締役 三浦順治(33高)、株式会社 三栄堂 代表取締役 渡辺哲三(31高)、(株)丸福 福田靖久(45高)、学校法人 廣池学園、麗澤大学 学長 中山 理(35大)、麗澤中学・高等学校、匿名2名

麗澤会を応援します！
辻本篤史 42高
公美子 42高

麗澤会を応援します！
NSKエンジニアリング(株)
代表取締役 社長
大上 正

麗澤会を応援します！
夢陶房(株)
代表取締役 社長
大上磯松 36高大

ITのワンストップサービス
日本システム技術株式会社
代表取締役 社長
平林武昭 20高

株式会社八天堂
代表取締役
森光孝雅 45高

麗澤会を応援します！
株式会社丸福
代表取締役
福田靖久 45高

麗澤会を応援します！
藤田和広 31瑞

麗澤会を応援します！
学校法人
廣池学園

世界にとって、いいことしよう。
どこよりも「人間力」を。さらに「グローバル力」を。
麗澤大学
学 長
中山 理 35大

心の力を育む
麗澤中学・高等学校

第92回箱根駅伝

予選会

麗澤大学18位

村瀬圭太選手 2年連続 関東学生連合チーム入り!



平成27年10月17日に東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタート、国営昭和記念公園にゴールする20kmのコースで開催された「第92回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」の予選会に麗澤大学陸上競技部が新年の箱根路疾走にチャレンジしました。

今回は49校がエントリー、明年(2016年)1月2日、3日の本大会への出場権10枠を争います。就任2年目の小野圭久

監督の指導のもと、キャンパス内の環状道路中心の練習に加え、夏の北海道深川市での合宿で一人1000km超を走り込む、厳しい練習の成果が発揮され、10時間21分10秒で18位と健闘。昨年の総合タイム(10時間27分22秒)より、6分12秒伸ばし、麗澤大学記録を4分34秒短縮する好走でした。

コースの要所では選手の保護者の皆様、仲間の学生をはじめ、教職員、OB・OG約百名が新しい幟旗を手に応援、目の前を疾走する選手一人ひとりに大きな声で声援を送りました。

その中で1時間00分40秒で総合50位の記録を出した経済学部4年生村瀬圭太選手が、関東学生連合チームに、2年連続で選ばれました。

今年の第91回箱根駅伝本選では、中山学長をはじめ大勢の応援の声援の中、復路7区を区間11位の好走でした。

新春の箱根路でも、村瀬選手の快走を期待します。走る区間が決まりましたら、ホームページ、フェイスブックでお知らせしますので、皆さま、応援をよろしく願いたします。

荒谷友碩さん 第13回世界武術選手権大会の 2種目で銀メダルを獲得!



11月15、16日、インドネシアで開催された第13回世界武術選手権にて、麗澤大学外国語学部中国語専攻3年の荒谷友碩さんが男子太極剣、男子太極拳の2種目で銀メダルを獲得しました。

世界武術選手権大会は2年ごとに開催され、毎回80近い国・地域から選手が参加する「武術のワールドカップ」ともいえる大会。荒谷さんは前大会に続き、2度目の出場でした。

大会間際まで北京で行われた日本代表の合宿に参加していた荒谷さん。合宿中に中国在住の指導者から受けたアドバイスのおかげで演武の完成度が上がったそうです。

「完成度が上がったことで自信が生まれ、それまでの緊張した気持ちから、『自分の技が世界大会でどれくらいの評価がも

らえるんだろう』とワクワクするような気持ちになりました」
(荒谷さん)

無駄な緊張も取れ、平常心で臨めたという荒谷さんは、夏の全日本武術太極拳選手権大会同様、ノーマルスで演武を終了。太極拳2位(前大会では10位)、太極剣2位(前大会では8位)、今大会で日本が獲得した銀メダル4個のうち半分を占めるという快挙を遂げました。

また、前大会では、開催国のマレーシア到着後に体調を崩してしまい、大会直前の本番会場での練習が1回しかできない状態で大会に臨むこととなった反省を活かし、今回は体調管理にも十分な注意を払ったそうです。

「今回の大会では、自身の成長を実感できました。さらに練習を重ねて技を磨き、次の大会では金メダルに届くようになりたいと思います」(荒谷さん)

演武同様、落ち着いた様子で抱負を語ってくれた荒谷さん。その静かな口調の中にもしっかりとした意思と向上心が感じられました。これからの益々の活躍に期待したいと思います。

教育者座談会

われら麗澤、

教育に道德を、子供に生きる力を

今が出番です

学校すべてが実践の場

— 今年は麗澤教育がスタートしてから80年にあたります。昨今の道德教育を求める風潮の中で、麗澤への期待も高まってきています。そこへ麗澤教育はどんな貢献ができるのか、各校の最前線を担われる先生方とお話ししていきたいと思えます。まずは現状の取り組みからお話しただけですか。

笠間 麗澤は、創立者の廣池千九郎博士が「道德」によって真の人間教育をするた

めに設立した学校ですので、授業だけでなく、かかわるすべての活動において、生徒の心をどう育てるかということが考えられています。ですから、私たち教員は、寮生活も学校生活もホームルームも部活動もすべてが、子供たちの道德性を引き出す場であるとの意識をもって取り組んでいます。

江島 麗澤大学では1年次に「道德科学」という必修の授業があり、学内の道德科学研究センターが作成した『大学生のための道德教科書』（麗澤大学出版会）をテキストにして理論的な側面と、実践的な側面という2つのアプローチから1年間、学ぶことになっています。もっとも笠間先生



麗澤大学経済学部助教

江島 顕一 氏
(63高)



麗澤瑞浪中学高等学校教諭

位田 耕一 氏
(43瑞)



麗澤中学高等学校教諭

笠間 芳幸 氏
(39高)

がおっしゃったように、授業だけではなく、学生生活すべての活動が道徳実践の場という意識を教職員みながつけて、当たっています。

位田 瑞浪も基本的なところはお二人がおっしゃったのと同じです。私が担当する社会科では特に生徒の道徳性を育てつつ、自国の歴史と文化に自信と誇りを持てる生徒を育てることを意識しています。

70年前に日本が戦争に負け、占領されている間に連合国が廃止したのが、今の道徳にあたる「修身」と「国史」「地理」です。このうち地理は日本の風土や文化がどうつくられたかを学び、国史は、先人たちがこの国をどう築いてきたかを学ぶ科目です。

日本人の精神を支えていた道徳心をどうにか骨抜きにするために連合国が廃止したこれらの科目は、裏を返せば、現代の道徳教育には欠かせないものです。その意味では、私は社会科の授業においても、道徳を意識して生徒と接するようにしています。

生徒の幸せを祈って

——日々、生徒と接する際には具体的にどんなことに気を配られていますか。

笠間 そうですね。中学生、高校生というのは多感な時期ですから、教師の何げない言葉や対応で成長のチャンスをつかんだ

り、反対に深く傷ついたりもします。考えてみると、そういう何げない言葉や態度というのは、その教師自身の内面から出てくるものであって、教師の品性が高まっているかないと、生徒に大切なものを伝えられないように感じています。本当に傷つけるのは「一瞬」ですが、信頼関係を築くには長い年月がかかりますから。麗澤の教育は、誰よりも教師自身が人間的に成長していかないと、成り立たないものだと思いますね。

江島 道徳教育がしっかりと学生の心に届くためには、今おっしゃった「信頼関係」が不可欠ですね。それは教師と学生の信頼関係であり、学生同士のそれであり。大学では中学・高校と違ってホームルームがないので、私が学生と会うのは基本的に週に1回（授業日）です。その中で信頼関係を築くには、当たり前のようにですが、きちんと学生一人ひとりの名前を覚えるところから始めて、会ったら名前を呼んで声をかける、挨拶をする、そこからですね。そういう温かい人間関係の土壌があつてこそ、道徳教育の効果もでてくるものだと思います。

具体的に学生と心の距離を縮めるためにやっているのは、私自身が大学生の頃に経験した道徳的な失敗談を話すことです。こういうマナーや礼儀を知らなかったばかりに恥ずかしい目に遭ったとか、失礼なことをしてしまったとか。私自身がどういう人

間なのか、まず自分を開示していくことを心がけています。学生も興味をもってくれるようで、そこは集中して聞いてくれます（笑）。

位田 私は卒業を控える6年生（高校3年生）を受け持つことが多いこともあって、いつも生徒一人ひとりの幸せを祈りながら、接することを心がけています。卒業した後、どの大学、どの方向に進むかを導くだけでは、進路指導とはいえません。その進路によってどんな人生を歩みたいのか、大学を出たあと、どんなふうに生きていきたいのか。本当に生徒一人ひとりの将来までおもんばかって、背中を押してあげることができるのかと問うた時に、やはり教師は「幸せを祈る」ことが根底にないといけないなど。

ただ進路を決めて送り出せばいい、進路実績をつくれればいいということなら、そんな努力はいらないでしょうけど、それは創立者がめざした教育ではないと思うんです。生徒それぞれが納得せずに進路を選び、将来に夢をもって卒業していきける、そんな指導をしたいと常に思っています。

違いを尊重し合える心を

——麗澤の教育の原点にはもう一つ「国際人教育」がありますが、21世紀を迎えてグローバル人材をどう育てるかという課題は

ますます強くなっています。グローバル化に向けた心の教育という点では、どんな工夫をされていますか。

江島 大学は全学生の四人に一人が留学生であり、日本人と留学生が一緒になって、さまざまな視点から道徳的問題を考える機会が多くなります。お互いに考え方、価値観の違いを言い合うことによって、留学生は留学生で「あっ、日本人ってこう考えるんだ」って分かりますし、日本人も留学生の立場がわかる。グローバル教育を道徳教育の中でもできているのかなと思っています。

私はそのほかに教職の授業も担当していますが、専門教科に加えて道徳教育もしっかり担える教員養成を目指しています。

麗大を卒業して教員の道に進む学生には、グローバルな道徳教育ができるようになってもらいたいと考えています。

笠間 麗澤高校では学校全体の取り組みとして、やはり自分たちは生かされて生きているという、目に見えない恩恵を感じることができると歴史や文化の学習機会を大切にしています。先人先輩がどれだけ苦労して今の日本をつくってくれたかです。

私が担当する中学生は、成長途上の時期ということもあって、少しのきっかけで、良いほうにも伸びるし、悪いほうにも傾く繊細な時期です。その点「自分たちはなんのために生きるのか」「どうという願いを託

されてこの世に生まれてきたのか」という、人生の背骨のような学びを校長や教頭、または外部の先生から受けることで、健全な成長ができるよう考えています。

そういう充足感があつてこそ、自分以外の人を大切にしたり、異文化を尊重できる心が育つと思いますから、特に中学生においてはベースとなる教育ですね。

位田 瑞浪は今、寮生と通学生の割合がおよそ半々です。寮生は全国各地の異なる文化で育った生徒と、地元からは東濃の文化で育った生徒が交じり合うわけで、学校自体が「小さなグローバル社会」となっています。

その点、私が中学1年生の最初の授業で必ずやるのが「方言は文化だ」なんです。

クラスが集まった仲間は皆、方言が違います。ではなぜ方言は違うのか。まず気候が違えば育つ農作物が違ってくる、農作物が違えば食文化も違ってくる。そして暑い寒いによって口の開き方も違ってくる。つまり、方言が違うということは、地理や風土が違うということなんです。そうやって「言葉の違いは文化の違い、だから互いの方言を尊重しあおうね」ってところから

授業をスタートします。相手の方言をバカにするってことは、グローバル社会に置き換えたなら、他国の言語をバカにするのと同じです。下手をすれば戦争になりかねない。だからこそ、「違い」を認め合う関係づくりが重要であつて、それを日常の小さな社会で体験し、体得してくれたらと思っています。

麗澤の人づくりで未来へ

——最後にこれからの麗澤教育について、みなさんの抱負や心に思い描かれていることをお話しただけですか。

笠間 中学1年生から6年間、子供たちが育つ過程を見ていると「麗澤教育ってすごい」と思うことがよくあります。小学校



撮影／岩橋仁子

を出たばかり、まだ自立した人間になりきれていない子供たちが、高校卒業の頃には「世の中に貢献していききたい」とか「ここで学んだ道徳を大切に歩んでいききたい」と本気で言えるようになって巣立っていく。そんな子供たちの成長を実感できた時、教師をやっていたよかったですね。

麗澤中学は完全通学制で、寮生は一人もいません。その点、伝統的に寮生活での人間教育を基本としていたこれまでの教育効果を、どう実現していくか、新たなチャレンジとして始まった学校です。最初に申し上げたとおり、学校におけるすべての機会を心を育てる場と意識して、教職員一丸となって道徳教育に挑んでいく。その成果が着実に出ていっているように思います。プレッシャーは日々ありますが、温かく見守っていただければと思います。

江島 道徳教育と他の専門（教科）教育とで決定的に違うところは何かというのと、専門教育は教師が学生に知識を教える一方的に関係性に対し、道徳教育は教師が学生から教えられることもある、相互的な関係性が成り立つという点ですね。

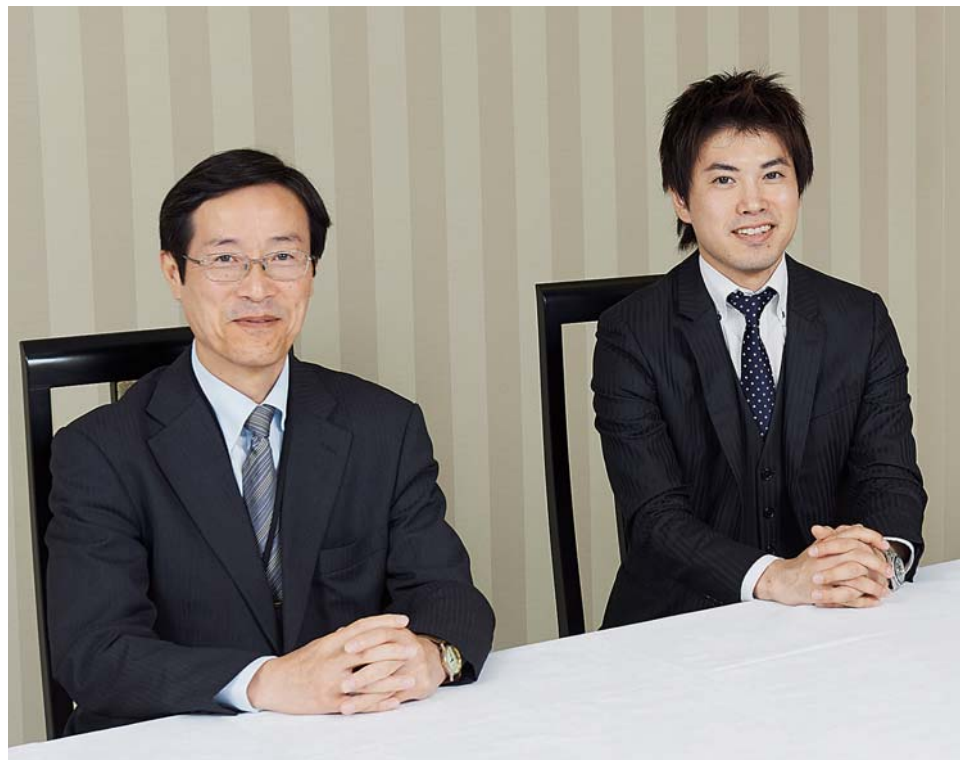
麗澤の理念に「師弟同学」とありますが、これこそは人格的感化の中で共に学びあい、教師自身も成長していける、その醍醐味をとて実感しています。やはり麗澤生には麗澤の高校生、中学生があこがれる、よきロールモデルになってほしいなと思っています。麗澤生というのはこうなん

だと、示せるような自覚、自信をもった学生を一人でも育てていきたいです。

位田 これからの考

えたときに、道徳教育の必要性が高まるなかで、社会からの麗澤への期待度も高まってきているのを感じています。80年の積み重ねがある麗澤から教科書とか教材とか、というご要望も感じますが、現場の教師は、目の前の生徒一人ひとりの心を育て、また社会から信頼される学校運営をしっかりとやっていくことが優先となりますので、そこはなかなか取り組めない分野です。廣池学園全体、またはモラロジー研究所とも連携しながら、麗澤の経験値が活かせる社会貢献が進んでいけばと思います。

また個人的には、道徳教育を教えられる教員の養成が課題となっていることを思えば、麗澤大学にこそ教育学部があってもいいのかなと。そこで麗澤教育のエキスを身につけた人材を育て、日本中の学校に送り出していく。麗澤に携わる一人の人間として、そんなことを思ったりもします。



笠間

そうですね。麗澤ではうれしいことに、将来は教員になりたいと志望する生徒が毎年多くいます。彼らがその純粋な気持ちをいつまでも持ち続けて、生徒の幸せを本気で考えられる教員になってほしいと思います。その点、麗澤は卒業して終わりではなく、長く麗澤教育、モラロジー教育で生涯自分を磨き、幸せな人生を築ける人間になってほしいと思います。

——ありがとうございます。（本誌）



未来につながる道德心と 報恩感謝の精神を次世代へ

社会福祉法人愛和会 理事長



森 和俊 (28高)

近畿圏で最大級の保育施設

低く山々がうねる奈良盆地の田園風景に際立つ森の一画がある。ドアを入ると、木のぬくもりが温かい八角形のエントランス、しゃれた暖炉に迎えられ、歩を進めれば、芝生の青がまぶしい中庭にログハウス調の小屋また小屋。一見、リゾートのホテルかと思いがう光景だが、大人のための施設ではない。ここ「阪手保育園」は、生後3か月から5歳児までのおよそ1000名の園児のための「こども森」である。

社会福祉法人愛和会にとって阪手保育園は、奈良県内で5つめに手がけた保育園。



同会は平成27年7月に小規模保育事業所「すくすくKIDS広

場」もオープンし、施設合計で約1000名の子供を預かる、近畿圏で最大級の保育事業所として発展しつづけている。

「ここ奈良から、日本の次の世代を担う子供たちの豊かな心を育てたい」

そう語る理事長の森和俊さんは、昭和37年に麗澤高校を巣立った卒業生。子供の心の育成に欠かせない、親、保育士、地域の「安心」をめざして、常識にとらわれない取り組みにチャレンジをつづけてきた。

阪手保育園の設計にも、安心のキーワードが色濃く反映されている。その一例が、保育士が詰める「事務室」の配置。安全管理上、エントランスに近接するのはもちろんのこと、室の三方をガラス窓で開放度の高いつくりとし、室内から保育室や園庭の様子が容易に把握できるようになっている



る。

ハード面だけではない。「〇〇ちゃんのお母さん、こんにちは」。すべての保育士が、園児を迎えにくる親や祖父母の顔と園児をしつかりと記憶。温かな接遇に役だてるとともに、部外者の不用意な侵入防止に細心の注意を払う。これは阪手保育園に限らない。全5か園240名の保育士が、1000名の園児とその親に対して、基礎として行っていることである。

働く家庭の安心をサポート

森理事長は園を単に子供を預かり、育てる場としてだけ



阪手保育園



でなく、「働く家庭をサポートし、地域のコミュニティの

この道に命をかける

けるよう、就労時間や当番勤務の調整、休暇取得の促進等に力を入れ、子育てをしなから働く職員の割合は4割を超える。

と変わりません。それは情操教育であり、麗澤の人間教育ですよ」

園の一つ、宮森保育

園の1階には、童話世界を

イメージしたリヤドロ社製の

大型陶器が置かれている。そこに

「手をふれてはいけません」等の張り紙はない。「手の届くところにあっても、

絶対に悪さしません。子供は賢

いですから。できるだけ本物に

触れる機会を増やし、心を豊か

にしてあげたいですね」

子供たちの無限の可能性を信

じ、未来につながる道徳心を育

てる――。森理事長が生涯をか

ける人間教育は、大和路に確かな道を刻んでいる。

礎となるべき場」ととらえている。愛和会では、わが子を自分の「職場」に預けて勤務する保育士が数多い。「自分の子はダメという園も多いようですが、僕は違う。合間に子供のクラスの様子を見たり、母乳を飲ませたり。保育士が安心して働ける環境が、質の高い保育につながるんです」

保育の質を落とさず、職務負担を軽減する工夫も随所に。各園にランチルームを設置するのもその一例。一つの保育室で遊戯、昼食、午睡まで全てをこなしていた時

と比べ、食事の段取りや片づけの時間が省かれた。また日々の保育日誌をITで入力、共有化するなど、事務処理作業全般を改善。さらに結婚生活や育児と両立して働

朝和保育園

奈良県天理市兵庫町332-1



宮森保育園

奈良県磯城郡田原本町宮森230-5



宮古保育園

奈良県磯城郡田原本町宮古667



柳本保育園

奈良県天理市遠田町511-1



阪手保育園

奈良県磯城郡田原本町阪手931-1



地区麗澤会

新潟県支部



平成27年10月3日、見附市のイングリッシュガーデンホテルレアントで「新潟県支部の集い」を開催しました。会員や家族を含め総勢24名の参加を頂き、楽しいひと時を過ごす事ができました。ま

ず27年度総会を開催し事業報告・会計報告を行い、その後本部麗澤会松野事務局長から各校の現状や麗澤会の活動について詳しくお話いただきました。松野事務局長からご紹介いただいたDVDでは先輩、後輩の活躍ぶり等を知ることができ良かったと思います。懇親会は自己紹介を交えながら楽しく歓談し時間があったという間に過ぎました。次回、栃尾又での再会を約束し、石丸副会長の三本締めで会を締めくくりました。

福井県支部

平成26年12月14日に麗澤瑞浪中学・高等学校長の蟹井克也先生をお迎えして、麗澤会福

麗澤会福井県支部総会



井県支部第2回総会を開催致しました。

最初に中島支部長から昨年度の事業及び会計報告があり、続いて蟹井先生からのDVDを交えての母校の現状の展望についてのお話と、麗澤会の運営方針の説明と協力依頼がありました。

その後食事を交えながら、福井県支部の活動の活性化についてグループごとに意見交換し、和やかなうちにも活発な意見交換がなされて終了しました。

三重県支部
名張地区

平成27年8月23日(日)に、総会と大垣光宏氏を講師にお招きして講演会、懇親会を18名が参加して赤目温泉山の湯湯元赤目山水園において開催しました。



滋賀県支部

平成27年6月21日(日)

に、ご来賓に柏から米谷豊先生、瑞浪から野々村生夫先生、大阪から松浪進関西ゾーン長にお越しを頂き定時総会を開催しました。今年には参加者が16名と少なく、2年前と比較すると半減でした。より多くの会員の皆様にご参加いただくには、総会の会場を県内各地に移動して行く方が良いと思われました。また、案内から総会まで20日しかなく、出席確認が困難な状態でした。しかし、出席者は久しぶりに恩師の方々と歓談し、ゆったりと懐かしく楽しい時間を過ごす事ができました。



山口県支部



平成27年6月28日(日)に山口市パルトピア山口において、支部総会を開催しました。麗澤会本部常務理事(事務局長)松野豊氏をお迎えし、参加者は専攻塾第1期生の田中栄作大先輩から小学校4年生の未来の麗澤会員まで、17名でした。

松野氏からは最近の母校の様子と、麗澤会の活動状況をご説明いただきました。

新しい支部長に山下温子さん(36瑞)に就任していただいて最初の総会でしたが、和気藹々とした雰囲気が進み、「麗澤の絆」を強めることができました。

グループ麗澤会 囲碁クラブ



平成27年8月30日(日)に総合本館研修室において、麗澤囲碁クラブ主催「第31回夏季囲碁懇親会」を開催いたしました。参加者は10名でしたが、夏の猛暑にもかかわらずご参加を賜り、たいへん有難いことと感謝申し上げます。

対局はいつものスイス方式で行いましたが、持ち時間は1局60分、これを超える場合は制限時間各10分により時計を使った対局となります。全員が午前中2局と午後2局、お昼90分間の昼食と休憩を合さみ計4回の対局を行い、予定通り懇親会を進行することができました。

スイス方式により対局結果は下表のとおりです。

優勝されました中島三段(写真右)には度会和三代表(17高大)から「廣池幹堂名誉会長杯」が授与されました。

順位	氏名	段級位	勝敗	勝点	全点	所属
優勝	中島 輝雄	三段	3勝1敗	9	10	15高大
2位	望月 幸義	四段	3勝1敗	6	7	22大
3位	松島 利允	二段	3勝1敗	6	7	会友
4位	山根勸次郎	五段	3勝1敗	5	6	17高

次回は1月に開催を予定しております。また、開催日が近づきましたら、あらためて案内を申し上げますので、たくさんのご参加をお願いします。

アーティストクラブ アートフェア2015



平成27年11月16日(月)から21日(土)まで、銀座「地球堂」ギャラリーにて「麗澤会アーティストクラブ アートフェア2015」を「復興・自然のやさしさ・自由」をテーマに開催しました。

平成25年に始めたこのアートフェアは、今回で3回目となります。

麗澤高等学校の生徒さん11名を含めて、23名の作品が展示されました。また今回は「宗武

志先生コーナー」を設置し、ご厚意により先生の作品を展示することができました。銀座の地の利も手伝って見に来てくださる会員数も増加傾向にございます。今後もアートを架け橋にして「麗澤」の絆を強めたいと思います。

オープンゴルフ大会



「第13回麗澤会オープンゴルフ大会」を10月15日から26日にかけて、広池学園ゴルフクラブで開催しました。会員、会友、教職員19名の方にご参加いただき、優勝は奥野保明さん（写真左・28高大）、NEETで0.6差の2位はディフェンディングチャンピオンの松岡省一さん（30高大）、3位とベスグロは佐坂浩二さん（50高）でした。10月30日に表彰式を行い、奥野さんに名誉会長杯が授与されました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。皆さまの来年度のご参加をお待ちしています。

中山理学長、奥野保明客員教授、草本晶准教授、竹内拓史准教授、もと本学教員のDreherご夫妻、Wolf Mareth（旧姓Mareth）先生が出席。ドイツ在住者だけでなく、ロンドンから遠路はるばる駆けつけて下

海外麗澤会

ドイツへの留学生送り出し
1000名達成記念
フランクフルトで大同窓会を実施！
「麗澤会欧州支部発足」

平成27年7月5日（日）、「麗澤会欧州支部」の発足を記念するとともに、麗澤大学から「ドイツへの留学生送り出し1000名記念」を祝い、ドイツ語を学んだ卒業生の親睦を図るため、ドイツ大同窓会が開催されました。



さった卒業生をはじめ、日本からも本同窓会のために休暇をとってドイツを訪れてくれた2011年卒業の皆さんを含む総勢44名の参加者があり、予定の時間を1時間も超過するほど、盛会となりました。出席した竹内先生の感想を紹介します。

私は学内で広報の担当をしていることもあり、「麗澤は30年のドイツ留学の歴史を持ち、千人をドイツに送り出してきた」と数字をアピールすることも多い。これは間違いなく誇っていいことである。しかし今回の同窓会でふと、奉職5年目に過ぎない自分はその数字の「中身」の素晴らしさや充実ぶりをよく理解していなかったのかもしれないと思った。それほど、各地から集まってくくださった卒業生の方々は、年代も職種も様々なが、みな世界（日本も含む）で地に足をつけ活躍し、そしてなによりも生き生きと生きていた。短い時間ではあったがそんな皆さんと実際に会って交流することで、私もようやく「留学の麗澤」の実質を、実感と共に理解することができたように思う。誰にとってもあつという間の3時間だったのだろう、散会時の名残惜しそうな、しかしとても満足げな皆さんの顔が印象的だった。

卒業生のますますの活躍と「麗澤会欧州支部」の発展を心より願っております。
Danke schön!

全国支部長会議開催

平成27年8月8日(土)、9

日(日)の二日間、麗澤大学校舎「あすなろ」にて、22都道府県支部長(代理、同行者を含む)24人が参加し、「麗澤会・支部・ゾーンの現状認識、課題、活性化について認識を共有する」、「活発な活動を行っている支部の事例を参考にし、支部活動の活性化を図る」をテーマ



として「全国都道府県支部長会議」を開催しました。

最初に岡田麗澤会会長から「麗澤会の現状」について、白木地区本部長から「支部活動」について説明を行いました。続いて北海道支部、栃木県支部、愛知県支部からそれぞれの支部活動の現状と活性化のための工夫を凝らした取り組み等の事例発表をしていただき、引き続き「創立者廣池千九郎先生 生誕150年記念行事」(「心の樺りレー」「船渡御」「全国同時開催すき焼き会食」)について本部から説明し、その後のグループディスカッションで今後の支部活動について、「心の樺りレー・全国同時開催すき焼き会食」への支部としての参加について活発に情報交換、意見交換がなされました。

どの支部も活性化したい思いは強いものの、会

員の多い少ない、連絡先が不明、住所が実家のままになっているなど共通した課題を抱えていることが共有され、課題解決に向けて「支部便り」の発行、連絡方法としてメールを活用する等、様々なアイデアを出し合い、多くの支部が活性化のきっかけに「心

の樺りレー・全国同時開催すき焼き会食」参加を検討していました。二日目には今後の支部活動について、参加者一人ひとりが活性化への意欲を表明し、引き続き、8月7日(金)から開催されている「次世代リーダー育成プログラム

2015 in 柏」のグループプレゼンに参加し、先輩会員の立場から講評をして全プログラムを終えました。「創立者廣池千九郎先生 生誕150年記念行事」をきっかけに、支部活動がより活性化し、麗澤会活動が一層充実していくことが期待されます。

麗澤会次世代リーダー育成プログラム2015 in 柏

麗澤会では平成23年から次世代リーダー育成プログラムを実施しています。実施の目的は「将来の麗澤会活動を担う若手人材の発掘および育成」です。というのは、4万人を超える会員のうち、35歳未満の若い世代が半数以上を占めているためです。



近い将来、若い人たちが積極的に麗澤会の活動に参加したくなるような面白い仕掛けを一緒に考えてくれる若手のリーダーを募集し、互いに励まし合い切磋琢磨できる本当の仲間を増やしてもらいたいという思いから「麗澤会 次世代リーダー育成プログラム」は3年前からスタートしました。

今年のプログラムの目的は「リーダーシップについて学びあい、麗澤の絆を強める」で、8月7日(金)～9日(日)の3日間で15名の受講生と5名のプログラムOBOGがメンターとして参加してくれました。

初日は岡田恭彦麗澤会会長から麗澤会の理念につながる「コモングッド」についてお話をいただき、夕方からは体育館に移動し、全日本大学男子バレーボール選手権監督で、東京学芸大学の高橋宏文准教授より「スポーツコーチング」を受けました。

2日目は中川敏彰麗澤会常務理事(麗澤大学キャリアセンター長)から前職であるヒーローホンダ社長時代のエピソードを交えながら「リーダーシップ」について講義をいただきました。

最終日はグループ毎に「若い世代に麗澤会イベントに参加してもらうには?」というテーマで、それぞれのアイデアを企画書にまとめてもらい全国支部長会議に参加して下さっていた支部長さんたちに向けてプレゼンテーションをしました。



緊急告知

「ハローグッバイ男子寮祭り」 開催決定

現在の麗高男子寮の建物が、来年3月をもって約40年の歴史に幕を閉じ、新しい寮に建て替わります。そこで新男子寮が竣工する当日に「ハローグッバイ男子寮祭り」を開催します。旧男子寮の見学はラストチャンス。奮ってご参加ください。



▲新男子寮パース

開催概要

会場 麗澤高校男子寮（新・旧）

日時 平成28年**3月12日**（土）
15:30～17:30

主催 ハローグッバイ男子寮祭り実行委員会
（代表：高野倉匡人44高）

協力 れいこう麗澤会・麗澤会千葉県支部・
れいたく掃除に学ぶ会

参加費 千円（当日払い）

お申し込み れいこう麗澤会ホームページ
reikou.reitakukai.jp

お問い合わせ info_chbreitaku@reitaku-u.ac.jp

スケジュール（予定）

イベント グッバイお掃除（任意参加） 13:30

- 感謝のトイレ掃除
旧男子寮ロビーに集合。感謝のトイレ掃除。

新男子寮見学ハローツアー（任意参加） 15:30

新男子寮前に集合

**旧男子寮グッバイツアー
（男子寮OBとその関係者限定） 16:00**

- 旧男子寮前に集合
- 寮内見学 • お別れ夕礼
- 七寮集会室にて夕礼の再現
- 旧フォーク研究会メンバーによるライブなど
その他現在企画中

エンディング 17:00

- 旧男子寮前に集合
- 旧男子寮前にて最後のお別れ
- 男子寮に対する感謝の言葉掛け
- 記念写真撮影

終了予定 17:30

（18:00より、秋庭宏は44高・森光孝雅45高を中心とした
フォーク研OBによるパーティー&ライブをキャンパスプラザ
会員会館で開催します）
（この機会を利用して、ぜひ期別同窓会などを検討ください）

▼昭和51年から使用し
てきた麗高男子寮



麗澤会員対象

宿泊付きゴルフプラン のご案内

四季折々の美しい自然に囲まれた、歴史と風格のあるショートコースの広池学園ゴルフクラブ。ゴルフ場から徒歩2分、キャンパスプラザ会員会館の宿泊・食事とプレイをセットにしたお得な「麗澤会員対象 宿泊&ゴルフ」プランです。ぜひご利用ください。



宿泊+食事+セルフプレイ プラン

平日・休前日

スタート9:00～最終スタート15:00
2play(18ホール)

麗澤会員 **10,350円(税別)**

一般 **12,800円(税別)**

プランに含まれるもの

- ▶ 宿泊(シングル1名1室、ツイン2名1室利用)
- ▶ 食事(夕食、朝食)
- ▶ プレイ代(グリーンフィ)

PGAティーチングプロの
ラウンドレッスン付プランもあります

— 月・木曜日限定、9ホール —

1名様3,334円、2名様(お一人)2,389円、3名様(お一人)1,908円(税別)

宿泊+食事+コンペ プラン

10名様以上、
40名様まで

平日・休前日

スタート9:00～最終スタート15:00
2play(18ホール)

麗澤会員 **12,650円~(税別)**

一般 **15,100円~(税別)**

プランに含まれるもの

- ▶ 宿泊(シングル1名1室、ツイン2名1室利用)
- ▶ 食事(夕食、朝食、昼食、パーティ料理)
- ▶ プレイ代(グリーンフィ)

※パーティ料理は1,500円のオードブル&ドリンク付です

※飲み放題は1,500円～、食事内容のご希望などご相談下さい

※レンタル手引きカート別料金

お申込・お問合せ先

キャンパスプラザ会員会館 TEL: 04-7173-3558

麗澤大学 第52回麗陵祭を終えて

大学オリジナルの文化と体育の祭典を——。そんな趣旨から年に一度の大学祭(麗陵祭)がスタートしたのが昭和37年。受け継がれているもの、変化したものとは。今年の実行委員長に話を聞きました。



——今年のテーマ「Bonvo Yagee!」後悔しない航海へ」には、どんな思いを込めたのですか。
長尾 麗陵祭自体を「旅」に見立て来場される方々に思い思いの航海を楽しんでほしいという思いです。また学生にとつては、当日までの失敗や苦勞という荒浪に負けず、参加する人全員が「後悔」しない3日間になりたい、そんな思いも込めました。今は「もっとこうしておけば」と思うところもありますが、このテーマにチャレンジしたことへの後悔は一切ありません。

——スタッフ200名を束ねるリーダー役、苦勞も多かったのでは。
長尾 自ら望んでついていた役ではないですが、みんなが選んでくれて、「50年以上も続く麗陵祭をなくしてはいけない」「つないでください」という責任感から始めたんです。自分はどうなリーダーになればいいのかわからない中考えていました。先生や職員の方、先輩たちに助けていただいて、そこに感謝できる自分にもなったのが大きかったです。

——麗大に入ったきっかけは?
長尾 オープンキャンパスに来た時のスタッフの皆さんの対応が、他の大学と比べ物にならないくらいよくて。押し付けず、一緒に歩いてくれるような人の温かさを感じました。それが決めてです。

——来年は4年生。どんな一年のために始まりますが「一人の事」をしたいですね。涙を流して達成感をみんなと共有する、この経験を生かしたいです。

麗陵祭実行委員長
 外国語学部
 中国語専攻 3年
 まゆお
長尾 麻由



御協力有難うございます

平成27年10月20日までに次の方々から協力金ならびに寄付金をいただきました。篤く御礼申し上げます。
 (敬称略、カッコ内数字は通期)

麗澤会協力金

- 戸川浩一(6専)、泉谷勝巳(11専)、松島久(11専)、高橋孝典(15短)、生方徹夫(16短)、小倉啓司(18高)、菊仲明代(18高)、三輪敦子(18短)、森光義文(18高)、浦田兼一郎(19高)、田中駿平(19高短)、中川千恵子(19高)、有吉正年(20高短)、五百城啓太郎(20高)、石渡英雄(20高短)、小島佳子(20短)、清水省一(20高)、高岡忠臣(20高)、森一馬(20高)、小豆沢知世子(21高)、大野淑音(21)、岡田智子(21高)、川嶋忠男(21大)、篠田静江(21高)、谷川誠士(21高)、新田紘輔(21高)、平川種徳(21高大)、三上晴久(21大)、武藤昌夫(21高大)、横田義信(21高大)、吉田豊子(21高)、渡辺愛子(21高)、有阪敏(22大)、川窪靖子(22高)、桑島良磨(22大)、佐坂成生(22高)、澤村和男(22高大)、武藤成生(22高)、目崎八重子(22高)、森川百合子(22高)、山岡慶次(22高)、横田武子(22高)、岩畔勝子(23高)、江間良子(23高)、黒梅吉英(23高大)、杉山博子(23高)、中根拓代(23高)、新田賢治(23高)、細川菁子(23高)、山田和子(23高)、山本幾雄(23高)、有阪ひで(24高大)、牛田道雄(24高)、会田璋子(24高)、梶原一浩(24高大)、加藤栄一郎(24高)、鈴木一朗(24大)、田中新二郎(24高大)、田中宏子(24大)、谷澤淳子(24大)、早川実(24高)、三谷川颯子(24大)、山田等(24高)、淡島成高(25高大)、石渡敏子(25高)、宇佐美洋子(25高)、讀井たつ子(25高大)、成瀬恭子(25高)、古川定邑(25高大)、光恒志津子(25高)、宮本美恵子(25高)、森雅子(25高)、和倉健二(25大)、池辺祐三子(26高)、熊谷和重(26高)、武藤梅子(26高)、大橋正光(27瑞)、田中秀一(27高)、田中拓治(27高)、那須嘉志郎(28大)、井上義雄(29瑞)、関俊章(29高)、中山哲雄(29瑞)、岩城英治(30高大)、加藤史子(30高)、木股初子(30瑞)、西川強(30高)、古川正儀(30高)、佐野忠信(31高)、太田喜美子(32大)、廣池幹堂(32高)、青木久子(33高)、門脇本一(33瑞)、松本浩一(33高)、岩城順子(34高)、小林希美(34瑞)、村田三郎(34高)、栗本貞子(35瑞)、發坂卓雄(35高大)、安藤逸夫(36高)、田岡啓子(36大)、中田啓子(36瑞)、奥山恵俊(37高)、高木治代(37瑞)、刀川昇二(37瑞)、福澤ひとみ(37瑞)、岡田喜(38高)、加藤義彦(38高)、小林寿満子(38高)、小林弘忠(38高)、生川優子(38高)、松本真佐子(39高)、秋庭宏次(40高)、加藤智教(40瑞)、伊藤啓子(41瑞)、川又明(41高)、林暢子(41高)、川島正敬(42瑞大)、谷口寿子(43瑞)、玉井和代(43高)、石浦英博(44高)、鮎田利江子(45瑞)、新居直美(46高)、藤澤輝幸(47瑞)、窄口美子(49瑞)、和泉佐恵(56瑞)、七條佳子(56高)、新井誠(57瑞)、大谷祥寛(57瑞大)、西山ひろみ(57瑞)、上野栄和(58高)、尾島洋平(62大)、玉井智子(66大)、埋金二郎(67瑞大)、正木大吾(68瑞大)、埋金三郎(70瑞)、大藪泰寛(74瑞)、西智弘(76瑞)、匿名2名

奨学基金

- 中西保夫(30瑞)、太田喜美子(32大)、門脇本一(33瑞)、松本浩一(33高)、發坂卓雄(35高大)、池田香(38瑞大)、松本真佐子(39高)、秋庭宏次(40高)、黒川潤(45高)、新居直美(46高)、小澤幸穂(52高)、鈴木昭宏(54大)、大谷祥寛(57瑞大)、三上節子(58院)、上野栄和(58高)、大藪泰寛(74瑞)

スポーツ基金

- 太田喜美子(32大)、發坂卓雄(35高大)、高木治代(37瑞)、福田比奈子(37瑞)、池田香(38瑞大)、松本真佐子(39高)、大谷祥寛(57瑞大)、大藪泰寛(74瑞)

麗澤箱根駅伝(麗大陸上競技部)

- 河村良三(28高)、太田喜美子(32大)、門脇本一(33瑞)、松本浩一(33高)、發坂卓雄(35高大)、中田啓子(36瑞)、高木治代(37瑞)、池田香(38瑞大)、岡田喜(38高)、飯田秀志(42瑞)、大谷祥寛(57瑞大)、大藪泰寛(74瑞)、贅貴紀(74大)

被災支援金

- 吉田豊子(21高)、太田喜美子(32大)、發坂卓雄(35高大)、中田啓子(36瑞)、高木治代(37瑞)、新居直美(46高)、和泉佐恵(56瑞)、七條佳子(56高)、上野栄和(58高)、大藪泰寛(74瑞)

大阪・心齋橋駅から徒歩3分。高級ブランドやおしゃれなカフェが並ぶ通りの一角で、存在感を放つセレクトショップ「トロワ」。

3を表すフランス語からなる店名どおり、エレガンス・モード・ラグジュアリーの三拍子そろった品ぞろえで、店内には本場イタリア、フランスのヨーロッパアンな情緒が漂う。

道徳は家庭から 人生は麗澤から

他では手にはいかない、自分だけのファッションを……。そんな目の肥えた女性客から支持されるのが店主の松浪緑さん、長女の礼子さん、次女の慈子さん。「3人ともファッションがとても好き。ヨーロッパでの買い付けも役割分担しながら、3人で行っていません」(緑さん)。店舗は心齋橋店のほかに2店舗、計3店舗を運営し



撮影：岩橋仁子

ている。そのほか長男の公道さんがアメリカ直輸入の服やバスケットシューズのネットショップ「トロワオム」を切り盛りする。

そんな多彩な一家をまとめるのが、夫であり、父である進さん。

保険代理を主事業とする(株)松浪総合の社長であり、麗澤会常任理事

関西ゾーン長、モラロジー研究所

大阪府大阪市モラロジー協議会長

松浪 進さん (32高)

松浪 緑さん (36瑞)

松浪 公道さん (61高)

松浪 礼子さん (64瑞)

など多方面で要職をこなす。

実は進さんの亡き父・賢治さん

も麗澤6期生。さかのぼれば祖父

母が麗澤の前身である道徳科学専

攻塾別科の卒業生であり、以来、

松浪の家に麗澤精神が受け継がれ

た。進さんは麗高に進んだ姉に続

き昭和41年、学ランに身を包み、

学園の門をくぐった。

在学中に転機があった。「お父

さんが交通事故や」。急を告げる

電話に大阪へ戻ると、「今晚が峠

です」と医師。もうあかかも

……。誰もが下を向きかけた

時、母が顔を上げた。家族を集め

「助かるかわからないけれども、

今こそ家族の心を一つにして、お

父さんが望む家づくりを力を合

せましょう」と呼びかけた。「幸

い父は助かり、あの一件から松浪



■セレクトショップ「トロワ」

心齋橋店

大阪府大阪市中央区南船場4-13-8

エステート心齋橋1階

TEL：06-4708-6570

■株式会社松浪総合

大阪府大阪市城東区蒲生3-14-4

TEL：06-6931-2568

さんが交通事故や」。急を告げる電話に大阪へ戻ると、「今晚が峠です」と医師。もうあかかも……。誰もが下を向きかけた時、母が顔を上げた。家族を集め「助かるかわからないけれども、今こそ家族の心を一つにして、お父さんが望む家づくりを力を合せましょう」と呼びかけた。「幸い父は助かり、あの一件から松浪の家は本当の意味で、麗澤精神、モラロジーに生きる家が変わっていきました」と進さん。

「今日こうして家族が絆で結ばれ、仲良く幸せに暮らせているのも、麗澤の教えが根っこにあるから。ほんま麗澤に感謝です」。代を累ねて心を育てる、松浪一家の温かな笑顔に会いたくて、今日もたくさんのお客が店を訪れる。

創立者廣池千九郎先生 生誕150年記念行事

開催

平成28年（2016）は、廣池学園創立者廣池千九郎先生（1866～1938）の生誕150年にあたります。麗澤会では、これを機に、麗澤会員が廣池千九郎先生を知り、麗澤の『絆』をより強めること。加えて、母校の将来の発展を願う、恩人・恩師に感謝することを若い世代へ、しっかりと価値を継承するために、麗澤会として「心の櫂りレー」、「船渡御」、「全国同時開催すき焼き大会」の三記念行事を企画いたしました。会員の皆様には是非ご参加をいただきたくご案内いたします。

麗澤の絆・心の櫂りレー

スタート 平成28年3月27日(日)「廣池千九郎生誕記念の集い」(中津記念館)
ゴール 平成28年6月5日(日)「伝統の日 感謝の集い」(廣池学園)

開催目的

母校麗澤の創立者廣池千九郎先生を偲び、各支部において先生ゆかりの地を訪ね、先生の史跡・事蹟を学ぶことで麗澤会の活性化につなげる。

開催概要

期間中に各支部において自主的に廣池千九郎先生にまつわる独自の企画を立てて実施、各支部の活性化を図る。テーマは【人間 廣池千九郎先生】とし、その企画内容は各支部が決定する。「心の櫂りレー」として実際に走って櫂を渡すことはしませんが、各支部で企画を実施した際には、同事業の象徴として全国共通の「フラッグ」を中心に動画または写真撮影を行います。各支部の個々の活動は公式フェイスブックページに随時掲載していきます。

実施単位

支部単位（合同開催も可：ゾーン開催協力）

参加支部

北海道、青森県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

(平成27年11月21日現在)

実行委員長挨拶

全国各地に広がる「麗澤健児」が各支部を中心として集う機会をつくり、都道府県ごとに「点から線へ」つながり、時代は変化しましたが今後の母校の発展と未来のために、麗澤会員一丸となって、より絆を強めていければと思っております。

麗澤会常任理事楠田正義（22大）



船渡御

平成28年7月25日(月)



開催目的

廣池千九郎先生生誕150年を記念に、麗澤会本部、関西ゾーン、関西各支部が一体となって主管し、大阪天満宮船渡御に参加する（なお、麗澤会として船渡御参加は3回目となり、当会としては今回が最後となります）。

恩師、恩人、並びに当会が日ごろお世話になっている方々をお招きし、会員、家族で恩人・恩師に感謝の心を伝える。

参加申込

同封のチラシをご利用ください。

全国同時開催すき焼き大会

平成28年11月3日(木・祝)

開催目的

廣池千九郎先生生誕150年を記念に、麗澤会の絆を、普段あまり参加されない方、若い（全寮制終了以降）世代に感じていただく。

実施単位

支部単位（合同開催も可：ゾーン開催協力）。
全国会場をインターネットで同時中継し、行事を盛り上げます。

参加支部

北海道、愛知県、三重県

※次号会報(平成28年7月発行)で詳細をご連絡します。



問い合わせ先

「麗澤の絆・心の櫂りレー」、「全国同時開催すき焼き大会」は、麗澤会都道府県支部単位で開催しますので、お住まいの支部の連絡先が不明の方は本部事務局までお問い合わせください。

メールアドレス reitakukai@ad.reitaku-u.ac.jp

☎04-7173-3205